





^{学長補佐} 神月 紀輔

三寒四温とはよく言ったもので、少しずつ春の訪れを感じるようになってきました。 大学でも、慣れ親しんだ学生と別れ、しかし、新しい出会いがそこに来ています。

社会は年々変化を遂げ、最近ではインターネットを使わない生活が考えられなくなりました。私は30年ほど前(当時中学校の教員でしたが)、近くの大学にお邪魔し、はじめてインターネットというものに触れ、特別にということで電子メールのアドレスをもらいました。当時は電話回線でネットをしていましたので、アメリカのホワイトハウスのホームページを開くのに30分くらいかかっていました。当時の大統領の声を聴くのにさらに30分ほど。「ハロー」と聴けただけで、ガッツポーズをしたものです。

そういえば、私がこの大学に来て2年目に、学生同士が見える場所にいるのにスマホで通話しているのをみました。

私「それなに?」

新

17

61

会情報課

程

設

学生「先生! しらんの? LINEやんか!!」

これがLINEとの出会いでした。その頃は、LINEはトランシーバーのような使われ方をしていることが多く無料通話が売りでした。そこから、徐々にSMS(ショート・メール・サービス)に代わるメッセージアプリになっていきます。

実はこの2つの出来事には共通点があります。それは、どちらも日本で起きた大きな 災害の後に広がったものです。インターネットの急速な普及は阪神淡路大震災の 後、LINEの急速な普及は東日本大震災の後です。

インターネットや情報は、一見人と大きな隔たりがあるように思えますが、人の生活に、あるいは私たちの生活を豊かにするために欠かせないツールになっています。 LINE株式会社元CEO森川亮氏は、のちのインタビューの中で、「東日本大震災の時に被災された方の携帯電話がつながらないのを見て、すぐつながり家族が安心できるツールを作りたいと思った」と答えています。27年前の阪神淡路大震災の時も、私が神戸に住んでいたので、外国の方から大丈夫かというメールを本当にたくさんいただいて、正直英語だったのでよくわからないながらも、一人で生きているわけではないんだなと感じ、近くの家や建物が崩れたり火災にあう絶望感の中でも心が温まる思いをしたことをいまだに覚えています。

このようなインターネットを最近では、悪い方向に使う人も残念ながらいます。また、間違った情報やいい加減な情報を平気で流す人も後を絶ちません。場合によっては人を傷つける行為を行う人もいて、インターネットが実は大切にしてきた人と人とのつながりを信用できなくしたり、思いやりを失うようにすることは辛いの一言です。

今一度、情報が誰にでも扱えてしかも有用なツールであることを、学びの中でしっかりわかってほしいと心から願い、私たちは「社会情報課程」を立ち上げようとしています。

情報といえば、エンジニアであったりプログラマーであったりという専門的な職業が思い浮かぶかもしれません。もちろんそれも情報の重要な部分ですが、これからの情報の活用はそういった専門家だけではありません。人の手では難しい計算をこなしてくれたり、膨大なデータの中からデータを掘り起こす(マイニング)をしたり、人の手で行うこともできるけれども効率的で速く正確に行える仕事は何かを考え、機械やコンピュータに行ってもらうための操作をする人(オペレーター)などが普通の生活の中で活躍していきます。この新しい時代に人を中心とし、人が生き生きとできる時代にするために、毎日の生活を活力あるものにするために社会情報をしっかり扱う人を育てたいと決意しています。

この新課程の担当教員は、すべて既存の4学科・1センター(国際日本文化学科・生活環境学科・心理学科・こども教育学科・ND教育センター)の所属教員です。それぞれの分野で情報活用力を生かし、情報と専門領域を掛け合わせ、社会に資する学問の提案を行い、指導していきます。これまでの本学の60年の歴史に情報の活用を加えた新たな価値を掘り起こし、創造します。

さらにこの新課程は情報活用力プログラムも兼ねており、このプログラムは MDASH(数理・データサイエンス・AI教育プログラム)リテラシーレベルとして、文部 科学省に認定され、その取得者への支援サイト(MDASH SUPPORTERS)が経済 産業省にあるように社会全体からも期待されています。

この分野は理系や文系ではなく学問分野のジェンダーフリーです。2023年度から 新入生をお迎えしたいと思っています。私は、ここに集う皆さんと一緒に学ぶことにワ クワクしながら、また来る春の新しい出会いを心待ちにしています。

創立60周年記念式典を挙行しました



本学の創立記念日である2021年12月8日(水)に、創立60周年記念式典を挙行いたしました。新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策の観点から、規模を縮小しての開催となりましたが、来賓、教職員など約130名が出席しました。

式典では、中村学長から「この60周年に『共生社会を創造する女性の育成』をテーマに掲げた本学は、次の70周年、80周年に向けて、混沌とした社会を支え、未来を創る女性リーダーの輩出に全力を傾けていきます」と挨拶があり、和田理事長は設立当時の様子に思いを馳せ、関係者への謝意を述べられるとともに、「聖母マリアが、『尊ぶ』『対話する』『共感する』『行動する』というミッションコミットメントを生きる私たちのこれからの道を、希望を掲げて共に歩み、神からの恵みと祝福を取り継いでくださいますよう願っています」と述べられました。

また、元学長で名誉教授の梶田叡一先生、藪内稔先生、芹田健太郎先生、名誉教授の米田泰子先生、服部昭郎先生からもご挨拶をいただき、ともに60周年の節目を祝っていただきました。

続いて、同窓会から創立60周年を記念して寄贈されたマリアン モニュメントの目録が贈呈され、保護者会からは寄付目録が贈呈 されました。キャンパス南西角に設置されたマリアンモニュメント は白を基調とし、中央には学章のガラスがはめ込まれた美しいデ ザインで、下鴨本通りから大学正門への道標となっています。

式典の最後には、本学の60年の歩みを収めた動画が上映され、懐かしい校舎での授業風景や先生方の映像が映るたびに歓声があがるなど、和やかな雰囲気のうちに式典は終了しました。





2023年4月に「社会情報課程」を設置(予定) ~学部等連係課程実施基本組織の制度を活用した新しい学びの形~



本学は、1990年代から情報科目を設置し、情報教育とプログラミング教育を多くの女性に提供してきました。

2021年3月には文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択、8月には「情報活用力プログラム(基礎)」が、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に認定され、これらの実績を背景に「社会情報課程」の設置を予定しています。(予定であり、変更する可能性があります。)

文部科学省は、「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」を受け、学内の資源を活用して分野横断的な教育に積極的に取り組むことができるよう、学部等が連係して編成する教育課程を置くことを認めました。

この新課程は、学部等連係課程実施基本組織の制度を活用し、本学が培ってきた「情報」の知識・技能と国際言語文化学部・現代人間学部での専門の学びを掛け合わせ、情報スキルを実社会に合わせて柔軟に活用しながらSociety 5.0社会を生き抜くクリエイティブな女性を育成します。

【新課程概要】(設置予定)







眞田雅子前学長、藪内稔元学長が叙勲を受章

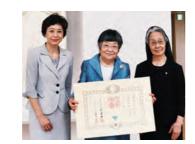
令和3年春の叙勲において、眞田雅子前学長が瑞宝中綬章を受章されました。また、同年秋の叙勲において、藪内稔元学長が瑞宝中綬章を受章されました。

瑞宝中綬章は、公務等に長年にわたり従事し、成績を挙げた人物に授与される勲章です。長年にわたる教育研究活動への貢献に対するこのたびの受章に祝意を表し、今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

●眞田雅子氏

平成4年4月に東京女子大学教授に着任、現代文化学部長を経て、平成22年4月に東京女子大学長に就任。平成26年3月に退職されるまで同大学の発展に尽くすとともに、言語学の教育・研究に努められました。

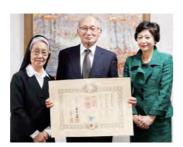
平成29年4月に京都ノートルダム女子大学学長に就任。在任期間中は、学長就任と同時に発足した新学部(現代人間学部)の運営を軌道に乗せるために尽力されながら、更なる改革に着手し、人間文化学部及び人間文化学科の名称変更(それぞれ国際言語文化学部・国際日本文化学科に変更)を完遂。学部教育の基盤を固めつつ、大学院の改革にも精力的に取り組まれるなど、本学の発展に大きく貢献されました。



●藪内稔氏

平成7年4月に東京大学教授に着任、文学部行動文化学科長、大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻主任を歴任され、平成15年6月に東京大学名誉教授の称号を授与されました。

平成15年4月に京都ノートルダム女子大学教授に着任後、大学院心理学研究科長、心理臨床センター長を歴任され、平成21年4月に第7代学長に就任。京都工芸繊維大学と連携協力に関する包括協定を締結し、さまざまな大学間連携事業を推進されました。とりわけ、「北山キャンパス総合整備計画」において、不足する教室確保のために国立大学の敷地内に私立大学の建物(ノートルダム館)を設置したことは全国初の画期的な取り組みでした。在任期間中は大学間連携をはじめ、地域連携、産学連携、高大連携を推し進めたほか、学生のキャリア形成支援のため、キャリアセンターを設置するなど、本学の発展に多大な貢献を果たされました。



福井県と就職支援協定を締結

この協定締結により、本学と福井県は本学学生に対する福井県内の企業情報、各種イベント案内等の情報提供を行い、福井県へのUIターン就職促進に取り組みます。

本学には、福井県出身の学生が13名(2021年5月時点)在籍 しており、これまで以上に本学に在籍する全学生・保護者に福 井県内企業や教職・公務員等に関する情報を提供することが可 能になります。

締結式には、福井県京都事務所から辻俊之所長(写真:右)と 玉井克幸主査が、本学からは中村久美学長(写真:左)、鷲見朗 子キャリアセンター長、松岡正和事務局長らが出席し、協定書

の受渡しを行いました。中村学長は「地域創生が注目される今、地元で活躍できることは本人にとっても保護者の方にとっても、また、送り出す大学にとっても名誉なことです。このような協定を結べることに感謝します」と語りました。



就職支援に関する協定内容 【協定内容】

- ・学生に対する県内の企業情報、各種イベント等の周知に 関すること
- ・学生に対する福井県で暮らすメリットや魅力の説明等に 関すること
- ・学内で行う合同企業説明会等の開催に関すること
- ・保護者向けの就職セミナーの開催に関すること
- ・学生のUIターン就職に係る情報交換および実績把握に関すること
- ・県内企業における学生のインターンシップ受入の支援に 関すること
- ・県内企業の採用活動の支援に関すること
- ・その他、学生のUIターン就職促進に関すること

鷲見朗子教授の研究プロジェクト記事が「Impact」に掲載



学術情報誌「Impact」(英国Science Impact社刊)に掲載された鷲見 教授の研究プロジェクト記事

Research on the formulation and effects of teaching methods that enhance learning motivation in Arabic language *Impact*, Volume 2021, No. 4, May 2021

国際的な学術情報誌「Impact」(英国Science Impact社刊)に、国際日本文化学科鷲見朗子教授が代表を務める研究プロジェクト「アラビア語学習における動機づけを高める指導法の開発と効果に関する研究」が紹介されました(英文記事)。

この研究プロジェクトは、鷲見教授がこれまでに3件の科学研究費補助金を受けながら進めてきたもので、名古屋工業大学鷲見克典教授との共同研究です。日本のアラビア語教育・学習・学習者に関する歴史・現状や環境・特色を踏まえ、理論的な検討、質問紙・面接による調査から得られたデータの分析、実際の教育活動を通じて、学習の成功を導くための鍵となる学習者の自律的動機づけについて、特色の理解と向上方策の提案をおこなっます。

「Impact」はさまざまな分野の注目すべき学術研究を国際的に紹介する雑誌で、読者は大学・研究機関、国・地域の研究資金提供機関、政府などの主要研究出資者をはじめ、およそ3万5千人です

鷲見朗子教授が編集に携わった論文集(英文)が 国立民族学博物館より刊行

国際日本文化学科鷲見朗子教授が編者となったアラブ文学 に関する論文集 (英文)が刊行されました。

共編者は国立民族学博物館西尾哲夫教授で、アラブ地域の詩・小説・エッセイにおける私的領域と公的領域の関係性や個人の経験による世界の形成に関する最新の論文をまとめたものです。論文著者はアラブ地域の文学・文化を専門とする日本5名、米国2名、エジプト1名、フランス1名の研究者です。刊行は大学共同利用機関法人人間文化研究機構の現代中東地域研究推進事業(国立民族学博物館 現代中東地域研究拠点)による研究助成を受けています。

鷲見教授の執筆は序と第2章の論文「エジプトの近代詩人ハーフィズ・イブラーヒームと与謝野晶子による日露戦争に関する詩の研究」です。論文は日露戦争を主題としたイブラーヒームのアラブ詩と与謝野の「君死にたまふことなかれ」を比較し、前者は私的な声と公的な声が相互に響き合い、後者は私的な声が優勢であることを指摘しています。



【書籍情報】

Edited by Akiko Sumi and Tetsuo Nishio. *The Personal and the Public in Literary Works of the Arab Regions*. The Center for Modern Middle East Studies at the National Museum of Ethnology, print edition and electronic edition, 2021 (vii + 177 pages), ISBN 978-4-87974-763-1 C0097

鷲見朗子・西尾哲夫 編著『アラブ地域の文学作品における私的と公的』 国立民族学博物館 現代中東地域研究拠点 2021年3月 印刷版・電子版 (vii + 177頁)

新任教員紹介



心理学科 准教授 **菊野 雄一郎** 2022年4月より現代人間学部心理学科に着任いたしました菊野雄一郎と申します。高校と学部時代は英国、大学院時代は京都で過ごし、その後、研究員、大学教員として西日本を横断し、約8年ぶりに京都に帰ってきました。専門は認知心理学、神経科学、遺伝学を融合した認知神経遺伝学です。研究では、遺伝子解析、脳イメージング、ホルモン分析を併用して、ヒト(子どもから大人まで)の個性を形づくる生物学的基盤を解明することに関心をもっています。趣味はサッカーと温泉巡りです。どうぞよろしくお願いいたします。



こども教育学科 特任准教授 網**谷 綾香** 2022年4月より現代人間学部こども教育学科に着任いたしました網谷綾香です。学校臨床心理学・教育相談が専門です。本学の教職関連科目や京都教育大学連合教職大学院の科目を担当することになりました。これまで大学で教員・保育者養成に携わるとともに、不登校や発達障害の子どもたちの支援、教員のメンタルヘルスに関する研究等を行ってきました。これらの経験を活かし学生の皆さんや先生方と共に新たな学びを深めていければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

3 KYOTO NOTRE DAME UNIVERSITY



新任教員紹介



こども教育学科 准教授 園田 雪恵

2022年度より、現代人間学部こども教育学科に着任致しました。私は、大学卒業後、幼 稚園教諭をしていました。その後、大学院で幼児教育について学びの機会を得た後、保育 者養成に携わっています。これまで、保育に関わる授業や実習を担当してきました。こちらで も、保育を実践する楽しさをお伝えできればと思います。

主に行っている研究は、保育者養成校の学生が、保育実践につなげるために、実習園で どのような学びを得ているのかを明らかにすることです。学生のみなさんが保育の理論と 実践をつないでいけるように、どのようにしてアシストすればよいのかを常に考えていきた いと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。



こども教育学科 佐藤 真太郎

2022年4月より現代人間学部こども教育学科に着任いたしました佐藤真太郎と申しま す。3月まで「理科が楽しくて目をキラキラと輝かせる子供たちを育てたい」という想いを持 ち、公立小学校の教員をしておりました。専門は理科教育学です。主な研究テーマは、理科 教育における自然災害に関連した防災・減災教育です。他にも、科学を実験ショー形式で 伝える「サイエンスショー」の取り組みも行ってきました。本学の発展に少しでも貢献するこ とができるように頑張ってまいります。



こども教育学科 廣口 知世

2022年度より、現代人間学部こども教育学科に着任しました。専門は、話合い学習指 導です。自身の小学校教員の経験から、話合いが豊かな学級ほど、こどもの思考力・判断 力・表現力が育成されることを実感し、研究してきました。一方的な知識や技能の伝達では なく、親和的・協同的・創造的な話合いを通して、一緒に国語科教育について考え、学生の みなさん自身が自分の答えを導出することのできる講義を提供したいと考えています。

退職の辞



心理学科 廣瀬 直哉

本学に来る前も女子大学ではあったのですが、ずいぶん雰囲気が違い、最初はかなり戸 惑いました。小さい大学であったことで、その分、少人数のゼミや授業で学生と交流できた り、さまざまな仕事をしなければならなかったことで、色々と勉強させてもらう機会があっ たと思います。また、FD・点検評価や入試、研究倫理審査など長としてやっていた時には、 職員の方々に支えていただき、本当に助かりました。16年間お世話になり、ありがとうござ いました。



心理学科 後藤 伸彦

2018年4月に赴任して丸4年間、お世話になりました。初めて教員として赴任したのが 本学でしたので、「大学1年生」のつもりで2021年度卒業の学生たちとは「同期」と呼び 合って、楽しく過ごさせていただきました。心理学科、また他学科の先生方、そして職員の 皆様には温かく、優しく見守っていただき、教員としての心構えを学ばせていただきました。

新たに赴任する大学では「ノートルダムで働かれた先生は一味違うな」と言ってもらえる よう精進いたします。本学の益々のご発展をお祈り申し上げます。



こども教育学科

渡邊 春美

歳を重ねると月日は加速されて過ぎてゆくようです。2018年に着任致しましたが、はや くも4年が経ち、2022年3月末をもって退職することになりました。この間、教職員の皆様 には、ずいぶんお世話になりました。コロナ禍によって交流の機会が減ったのが残念でした が、皆様のお蔭をもって満ち足りた時間を過ごすことができました。

とりわけ、教育・研究に熱心な同僚の先生方には、交流をとおして大きな刺激をいただき ました。学生と向き合う楽しさや、通信機器を用いた授業改善など、多くを学ばせていただ きました。研究面でも先生方と研究計画を出し合い検討することを通して「作品・分野別 漢文教育実践史に基づく漢文教育改善の研究」(科学研究費補助事業)に着手すること ができました。また、本学の研究紀要に掲載いただくことで「国語学習個体史の研究」を軌 道に乗せることができました。2021年度は、科学研究費による学術出版助成を得て『戦後 古典教育実践史の研究』を刊行できたのも収穫となりました。皆様からいただいた学びの 縁を思い、深く感謝して退職のご挨拶といたします。



こども教育学科 准教授 小川 博士

7年間お世話になりました。小学校教員だった私が大学教員としての第一歩を本学で過 ごせたことは、本当に幸せなことでした。

授業では、指導法関係の授業のほかに、「こどもと自然」や「こども教育フィールド研修」、 「環境教育」など、特色ある科目に携わりました。その中で「どのような授業をすればよい のか」と何度も悩みましたが、その度に先生方や職員の方に温かく支えていただきました。 皆様に感謝するばかりです。京都ノートルダム女子大学の益々のご発展をお祈り申し上げ、 退職の辞とします。

ヒガシマル醤油 出張講義

2021年11月10日(水)、福祉生活デザイン学科の3年生ゼ ミ「福祉生活デザイン特論」において、ヒガシマル醤油株式会社 (以下、「ヒガシマル」)による出張講義が開催されました。

授業前半は、「醤油の勉強会 ヒガシマル醤油が語る『うすくち しょうゆの世界」」と題して講義が行われ、醤油の種類や製造工 程の違い、歴史など、醤油の奥深さを学びました。新型コロナウ イルス感染防止に努めながら「きき酒」ならぬ「きき醤油」や、淡 口(うすくち)醤油と濃口醤油で調理された高野豆腐の味くらべ も行いました。

後半は、キャリアについての講義でした。若手社員の方々のお 仕事の様子が紹介されたあと、今回の出張講義にヒガシマルの 社員として戻ってきてくれた卒業生の野竹ゆりかさん(2019年 度生活福祉文化学科卒)から、後輩たちへ力強いメッセージを いただきました。

開催日:2021年11月10日(水)

醤油の新たな知識を深めつつ、専門分野の学びが卒業後の キャリアにどのように結びつくのかを具体的にイメージできた 90分間でした。



教職実践演習について

11月になると「教職実践演習」が始まります。この科目は大学 での教職についての学びの集大成として複数回行われるもの で、その中から、いくつかの内容を紹介します。

第5回は、ある場面を想定して、その対応についての演習(ロー ルプレイング)です。今回は、「コロナ禍で中止になった修学旅行 に代えて自然体験活動を企画したが、説明会も終えた後に何 名かの保護者から感染が心配だから中止してほしいとの申し出 があった」という想定です。保護者役と教員役に分かれて熱のこ もった話し合いが展開されました。対応に決まった正解はありま せんが、まずは相手の話をしっかり受け止める(傾聴する)ところ がポイントのようです。

創立60周年記念式典の翌日2021年12月9日(木)に、ND

ホールで行われた第8回は、2019年度卒業で現在同じ小学校 に勤務する2人の卒業生が講師です。教師の1日、授業の大切 さ、やりがいについて…などの話の中で、より良い教師生活を送 る秘訣は「笑顔と感謝」とのことでした。自作のパワーポイントも

活用して生き生きと語 る姿は、前日の60周年 記念式典で多くの方が 話された、本学が目指 す「自立した女性」その ものでした。後輩であ る4回生も多くのこと を学んだと思います。



2021年度社会・ビジネス心理フィールド研修 (京都北山マールブランシュ様との連携)」報告

心理学科の「社会・ビジネス心理フィールド研修」では、2021 年度、京都北山マールブランシュ様と連携させて頂き、①SNSな どで話題となるような「デイリースイーツ」の提案、②マールブラ ンシュの看板スイーツモンブランがチューブタイプになった「モ ンブランクリーム」のユニークな使い方とそのPRやプロモーショ ン方法の提案、という2つの課題に取り組みました。

8月に京都市山科区の本社に併設された「ロマンの森」にて授 業がスタートしましたが、その際、コロナ禍により「お客様に必要 とされるスイーツやお店」は大きく変容したというお話がありま した。受講生は、「お客様が本当に必要とするスイーツはどういう ものなのか」を意識しながら、ターゲットとなる20~30代女性 への調査を実施し、それぞれ提案内容の検討を進めてきました。

最終報告会では、企業担当者に向けて、従来のスイーツの枠 組みにとらわれない、お客様に様々な形で利用して頂けるスイー ツ、またモンブランクリームの新しい使い方のアイディアが提案 されました。この授業で身につけた知識やスキルが、今後の大学 生活やその後のキャリアに活かされることを期待しています。





5 KYOTO NOTRE DAME UNIVERSITY

保護者会後援 学生相談室主催

ワークショップ開催報告

開催日:2021年11月15日(月) 12月15日(水)

保護者会のご支援により、学生相談室主催のワークショップ を2回にわたり実施しました。2021年度は「こころとからだ」を テーマとし、ヨーガとマインドフルネスを企画しました。

コロナ渦での先の見えない不安な状況の中、前年度より多く

の学生が通常の生活とは異なる生活を送っ てきました。ストレスを感じやすくなると身体 の不調も感じやすく、それらの反応は人に よって異なります。ヨーガのワークショップ では医学的見地から身体の仕組みを学び、 実際にヨーガを体験することにより参加者 からも「呼吸が深くなり、気持ちがすっきり した」という感想が寄せられました。マインド フルネスのワークショップでは、"今、ここで 起きている体験"に意識を向け、心と身体の

気づきを深めることができました。日常的なストレス対処法は、 心身を健やかに保ち、学び豊かな大学生活を送る上でも必要と されています。今後も学生のメンタルヘルス向上のためにワーク ショップを企画できればと思っております。





開催日:2021年11月18日(木)

物故者追悼ミサ

2021年11月18日(木)、本学ユニソン会館大ホールにおい て、聖ヴィアトール修道会ウィリアム・セルジュ神父様の司式によ り、物故者追悼ミサが執り行われました。カトリックでは11月を 「死者の月」としています。2020年の追悼ミサ以降にご逝去が 判明した本学教職員、卒業生および本学関係者の魂が神様の みもとで安息の中におられますよう祈りを捧げました。帰天され た方々は次のとおりです。

京都司教区名誉司教

田中 健一 司教

大学寄宿舎 元舎監

卒業生 5名 本学関係者 1名 Sr.メリーレオナ 松島 和江氏



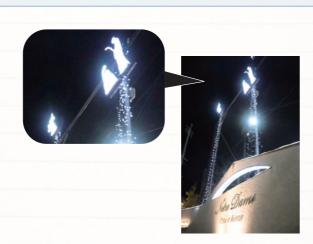
クリスマスイルミネーションについて

開催日:2021年11月30日(火)

2021年11月30日(火)~2022年1月4日(火)まで、大学 キャンパス西、下鴨本通りに面した約70mの間に植えられてい るヒマラヤスギと小学校北西角のモニュメント上(ダビデの星と 聖家族、天使)にクリスマスイルミネーションの点灯を行いまし た。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、前回に引き続き 点灯式は規模を縮小して執り行いました。

正月過ぎまでイルミネーションが点いているのはあまりなじみ のないことなのですが、カトリック教会におけるクリスマスを待 つ期間(待降節)の最初の日から、幼子イエスの東方三博士の 訪問を記念する祝日(主の公現)までの期間がクリスマスを祝う 期間となっていることから、この期間点灯されています。

例年、学生・教職員のみならず、多くの市民の皆様にもご覧い ただいています。



クリスマスの集い

開催日:2021年12月15日(水)

カトリック教育センターに所属する学生のグループ「エンジェ ルの会」は、ミサでの奉仕、聖書を読む会や教会訪問を実施する など、キリスト教に関するイベントを企画実行していますが、今 回は「クリスマスの集い」を行いました。ポスターで参加者を募 り、キリスト教に関心のある学生が参加してくれました。

クリスマスの集いは、クリスマスのデコパージュ作りと、お祈 りの二部構成で実施しました。はじめに、フラ・アンジェリコや ジョットの絵を使って木片にデコパージュを施し、クリスマスの 壁掛けを作りました。その後、聖堂で聖書のルカ福音書とマタイ 福音書を朗読し、聖母マリアへの受胎告知と、天使から羊飼い に告げられた救い主誕生のメッセージ、東方の占星術の博士た ちを導いた星について、エンジェルの会の学生がお話をし、アド ヴェント・クランツのろうそくの光の前で、神の独り子が救い主と してこの世界に来られたことに感謝しつつ心静かにお祈りをし て、和やかな雰囲気の内にクリスマスのお祝いをしました。

文責:キャンパス・ミニスター中里郁子



2022年度入学予定者対象 入学前教育 スクーリング」 実施報告

開催日:2022年2月14日(月) 15日(火)

高校での学びから大学での学びヘスムーズに移行できるよう、早期入学予定者を対象に学科課題・通信講座・スクーリング(ノートル ダム女学院高等学校・連携校対象)の入学前教育を実施しています。

今回のスクーリングは、2月14日(月)・15日(火)の2日間にわたって以下の内容で実施し、42名が受講しました。2日目の午前中に は、優れた卒業研究をした4年次生が研究成果を発表しました。さらに、保護者の方を対象とした説明会をはじめて実施しました。

受講後のアンケートでは、「大学生ではどのような力(判断力)を身につけなければならないのか、学長のお話しを通し、たくさん知るこ とができた」、「大学での学び方の姿勢を学べた」、「先輩方の姿がすごく輝いていて、あこがれを持った」などの声がありました。

また今回、各学科学生スタッフ(菊岡萌子さん、東川萌さん、西森結衣さん、八木萌子さん、村川佳奈映さん、森彩加音さん)が参加者 のみなさんをサポートしました。

10:30~10:50 開講式・オリエンテーション

11:00~12:00 学長講話 京都ノートルダム女子大学で学ぶこと(中村久美学長)

13:10~14:40 大学での学び方・新入生のためのカリキュラム講座(神月紀輔教授)

14:55~16:25 Enjoy English (York Weatheford准教授、Lyle De Souza講師)

16:30~17:10 キャンパスツアー

10:30~11:30 保護者向け説明会:自律・自立のためのサポート(神月紀輔教授)

10:00~12:00 卒業研究発表

13:10~14:40 これからのキャリアデザイン入門(青木加奈子准教授)

14:55~16:25 大学生のためのノート・レポートの書き方(久野将健教授・吉田智子教授)

図書館の活用法(図書館情報センター)

16:25~16:40 修了式

卒業研究発表

	英語英文学科	荻野 文音さん	Social Intelligence Quotient In The Workplace	
-	国際日本文化学科	古谷 瑞木さん	現代のいじめと魔女狩りの比較	
	福祉生活デザイン学科	若林 すみれさん	ひとり親世帯のイメージに関する研究-中学・高等学校家庭科教育の可能性-	
	心理学科	山下 ほのかさん	大学生における理想自己と現実自己との差異が自己形成意識に与える影響	
こども教育学科 岡本 葉月さん 北欧の学校教育から見た日本の学校教育の強みと		北欧の学校教育から見た日本の学校教育の強みと弱み		

2021年度 FD研修会

開催日:2022年2月16日(水)

2022年2月16日(水)、FD研修会「本学の情報教育の現状および本学学生のICTスキルの到達度を理解・共有し今後の教育改善に繋げる」(FD委員会主催、ND教育センター共催)が、オンライン(Zoom使用)にて開催されました。

FD(Faculty Development)は、教員が授業内容・方法を改善し向上するための組織的な取り組みのことで、本学では2009年度より研修会やオープンクラス(教員相互の授業参観)を実施してきました。

今回のFD研修会では、ND教育センター吉田智子教授が、本学の情報教育の現状や今後の課題、学生のICTスキル等について講演を行いました。その後、講演の内容を踏まえて参加者がグループに分かれてディスカッションを行いました。ディスカッションでは、学生のICTスキルの現状、オンライン授業や本学の情報環境の課題、改善策等について、活発な意見交換が行われました。

新型コロナウイルスの影響でオンライン授業が実施され、本学でも情報教育や情報環境の重要性、および学生のICTスキルのレベルが改めて問い直されました。今回の研修会で出された意見や提案は、今後の本学の情報教育の質の向上や情報環境の整備に活かされます。

本学の情報教育の現状および 本学学生のICTスキルの到達度を 理解・共有し今後の教育改善に繋げる

2022年 2月 16日 10:30~

ND教育センター 吉田 智子 tyoshida@notredame.ac.jp



参加者数 70名(専任教員62名、職員8名)

研究プロジェクト発表会実施報告

開催日:2022年3月1日(火)

2022年3月1日(火)「研究プロジェクト発表会」(図書館情報センター主催)を開催しました。本発表会は、京都ノートルダム女子大学研究助成の研究成果を発表するもので、今回は高田佳孝講師の研究成果が発表されました。また、石井浩子教授の科研費等による研究成果もあわせて発表されました。今回は対面での参加者は教職員・学生に限定しましたが、後日映像が一般に公開されます。発表演題と発表者は以下のとおりです。

- 1.「幼児期の生活習慣と体力からみた 健康管理上の課題と対策」 石井 浩子(こども教育学科 教授)
- 2.「小規模小学校における効果的な体育学習のあり方ー組み合わせ単元の実践をとおしてー」 高田 佳孝(こども教育学科 講師)

どちらの発表も最新の研究成果が紹介され、大変興味深いものでした。発表後には、活発な質疑応答が行われました。



参加者数 19名(教員14名、職員5名)

『京都ノートルダム女子大学研究紀要』第52号が発刊されました

本学における研究・教育成果を発表する学術研究誌『京都ノートルダム女子大学研究紀要』第52号が発刊されました。執筆者とタイトルは以下のとおりです。冊子は本学図書館にて閲覧可能です。冊子の入手をご希望の方は研究・情報推進課までご連絡ください。

また、京都ノートルダム女子大学学術リポジトリによりWeb公開(無料)します。

【学術論文】・小学校4学年児Mの「書くこと」の学習 一国語学習個体史の研究一(渡辺 春美)

・大学生が捉えるオンライン授業の学習効果

一学習意欲による差異を中心に一(松島 るみ、尾崎 仁美)

- ・空想の友達の発達的意味について(高井 直美)
- ・教職科目「総合的な学習の時間の指導法」の在り方に関する一考察(大西 慎也)
- ・つかのまのユートピアとしての雅宴画とその系譜(吉田 朋子)
- ・いわゆるガ・ノ可変と提示機能(三原 健一)
- ・オクタビオ・パスの詩論における読者の働き(平山 幸乃)
- ・スクーバダイビングが気分変容に及ぼす影響 一沖縄県入域観光客を対象として一(加藤 淳一、李 烋再)
- ・高等学校国語科学習指導要領に関する助動詞「り」の接続についての内容とその指導法(蜂矢 真弓)

【研究ノート】・理系学生の発達障害に対するイメージ、知識、意識の傾向

- 一発達障害学生を取り巻く人的環境の整備に向けて一(三好 智子、藤川 洋子)
- ・自由の相互承認に基づく社会の構築と学校教育の課題(田中 裕喜)
- ・ライプニッツにおける「無」と「可能性」(松井 吉康)

【問い合わせ先】

冊子をご希望の方:研究·情報推進課(TEL:075-706-3789)

Web閲覧をご希望の方(無料):京都ノートルダム女子大学学術リポジトリ「のあ」

https://notredame.repo.nii.ac.jp/



研究紀要

ノートルダム女学院高等学校との連携授業

本学は、ノートルダム女学院高等学校 プレップ総合コースの生徒に向けて、大 学の学びを体験する教育プログラムを提 供しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により延期等もありましたが、表のとおり、本学教員・学生による授業を生徒が受講し

また、2020年度から開始した特別科目等履修制度で「文章作成法」」を開講し、3年生の希望者が受講しました。

●1年生対象

1 = 133.		
6/1(火)14:20~15:10	自己探求としてのリフレーミング(中藤信哉講師)	
10/5(火) 13:45~14:45 15:00~16:00	みらいデザインプログラム ・映画を読み解く(須川いずみ教授) ・自分のこころを表現するとは 一言葉を使わないコラージュ療法―(佐藤睦子准教授) ・コロナ禍で読む感染症文学の世界(河野有時教授) ・生活と経済―持続可能なライフスタイルと社会の実現に向けて―(大風薫准教授) ・チーム学校「学校組織の一員としての教師」 (河佐英俊特任准教授)	
3/9(水)13:00~14:30	女性の生き方とキャリアを考える①(青木加奈子准教授)	

●2年生対象

	7/2(金)14:20~15:10	女性の生き方とキャリアを考える①(青木加奈子准教授) (前年度延期分)	
	11/13(±)14:30~17:30	みらいデザイン☆ハイスクールⅡ 人生の主役はだれ? (濱中倫秀特任准教授、キャリア形成ゼミ受講生)	
	3/9(水)13:00~14:30	女性の生き方とキャリアを考える②(平野美保准教授)	
	3/9(水)14:45~16:15	Alは"きのこの山"と"たけのこの里"を見分けられるか?	

●3年生対象

1/13(木)・20(木)、
2/3(木)・7(月)・8(火)・
9(水)・10(木)
13:20~15:10

「文章作成法」」(金美仙特任准教授)

9 KYOTO NOTRE DAME UNIVERSITY

NDキャンパス通信 Vol.16 10



京都府福知山市の「若者まちづくり未来ラボ事業」に参加しました

私は2021年7月より、福知山市がおこなっている「若者まちづくり 未来ラボ事業」の実行委員を務めています。福知山市にゆかりのある 高校生・大学生の実行委員8名が集まり、「福知山でやってみたいこ と」や「福知山のために私たちができること」を具体的に考え、地域を 元気にしていけるような活動をしています。これまでに、ZOOMにて 「わかもの会議」を8月と10月に2回、12月には福知山市内で「ブラリ ふくちやま&次世代交流ワークショップ」を行いました。



FMラジオ特集「京このごろ」

その中で、11月25日(木)にNHK京都放送局のFMラジオ特集「京このごろ」(生放送)に、福知山公立大学の方と出演させていただきました。番組内では、わかもの会議の目的や内容、福知山市の魅力などを話しました。今回は生放送だったため、すごく緊張しましたが時間があっという間に感じられるほど楽しむことが出来ました。

この活動を通じて福知山市の魅力を伝えていければ、と感じています。 国際日本文化学科4年 東川香菜



ワークショップの様子

種まき水やり十年で花が咲いた -2021年中国語検定試験に関する報告-

本学で中国語検定試験の試験会場を設けてから、2021年でちょうど10年を迎えることになりました。毎年受験する学生は決して多いとは言えませんが、こつこつと地道に種をまき、水をやりつづけ、少しずつ合格者を出してきました。これまで、延べ受験者104名の中、準4級30名(合格率53.6%)、4級9名(合格率40.9%)という成績をあげました。花でいえば種が芽生え、つぼみがでてきました。そして今年はついに花が咲きました。準4級受験者6名の内5名合格、4級受験者1の内1名合格、3級受験者3名の内2名合格、全体の合格率が80%という朗報が届きました。特に合格の難しい3級にも合格者が出たことが、後進の中国語学習者に大きな励みになります。

日本にとって、中国は大きな生産工場から販売市場へと変化しつつあります。コロナ禍の中でも、日本企業は新しい戦略として、SNSなどのツールを通して、中国に向けて日本製品の情報発信と販売促進に取り組んでいる様子も新聞やニュースなどでよく目にします。本学での中国語学習と検定試験の実施は即戦力のある人材を育成し、日本社会へ貢献できると確信しています。

2022年はより多くの、より大きな花が咲くように地道に水やりをつづけていきたいと思います。

(文責:朱鳳)

中国語検定3級合格!次の目標はオンライン留学

1・2年生時に第二言語で中国語を取りました。学んでいくうちに中国語の勉強が楽しくなり、力試しに中国語検定準4級を受けてみました。するとまさかの満点を取ってしまい、それが自分の中で自信になったのだと思います。3級はやはり難しく、練習では4割しか取れませんでした。空きコマに参考書や過去問を解いたり、分からない単語は辞書を引いたりして、なんとか一発で合格することができました。春休みには、短期でオンライン留学にも参加したいと考えています。これからも中国語の勉強頑張ります!

国際日本文化学科2年 石原彩希



2021年度インターンシップ成果発表会

2021年度の本学インターンシップは、前年と比較して参加希望者と受入先企業・団体が大幅に増加し、13の事業所で20名の学生がインターンシップを体験する事ができました。

一方で新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年通りの現場体験型実習の実施が難しい中で、2021年度は実習先企業・団体の方々と連携し感染症対策を徹底しながらの現場体験型の実習に加え、オンラインでの課題解決型の実習を実施していただくなど、様々な形でのインターンシップ体験が参加学生にとって貴重な経験となりました。

インターンシップに参加した学生は、例年ポスター発表形式にて 実習先の事業やインターンシップの参加目的・目標、実習の内容や実 習で学んだ事、今後の抱負などを成果発表としてプレゼンする機会を 設けております。2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観 点から、インターンシップ参加者のプレゼンテーションを動画撮影し、 YouTube上で本学関係者に公開する形で成果発表会を実施しました。参加学生は自身のインターンシップでの体験について工夫を凝ら

した発表を行い、動画という形ですが多くの方に成果発表を見てもらう貴重な機会となりました。



【2021年度の実習先】

- ・株式会社プリンスホテル ザ・プリンス京都宝ヶ池
- ・富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
- ·京都信用金庫

Leadership for Change 2021

開催日:2021年12月4日(土)

ンを行いました(要旨とリンクは

2021年12月4日(土)、本学英語英文学科グローバル英語コースの教員が中心となり、第2回国際学生会議「Leadership for Change 2021」が開催されました。2021年の統一テーマは、「Awareness、Advocacy、and Action(気づき、主張、行動)」。新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催となりましたが、本学と甲南女子大学から38名による発表があり、日本、カナダ、台湾、イギリスからの参加者が一堂に会しました。

学生たちは、「一人暮らしの高齢者問題」、「LGBTQアスリート」、「女性に優しい日本の作り方」、「ヴィーガンの世界を探る」、「今日の女性政治家」、「日本の残業事情」、「夫婦別姓について」、「日本におけるeスポーツの現状と女性のさらなる参入点」などといった幅広い

テーマで英語によるプレゼンテーションを行いました(要旨とリンクはウェブサイト https://lfc2021.edzil.la/ をご覧ください)。

発表者にとっても他の参加者にとっても、刺激的で有意義な時間となりました。意識改革は、ポジティ ブな変化を生み出すための第一歩

今年度は12月3日(土)に開催予定です。ご興味のある方は、 <kndu.leadership.for.change@gmail.com>までご連絡ください。

であることは間違いありません。



Leadership for Change 2021 (https://lfc2021.edzil.la/)

外国人留学生研究発表会が開催されました

開催日:2021年12月22日(水)

2021年12月22日(水)、NDホールにて「外国人留学生研究発表会」が開催されました。これは本学外国人留学生対象の共通教育科目「日本語表現II」(高岸雅子講師)の授業の一環で、「外国人留学生から見た日本。アジアの国との異文化間理解。」をテーマに掲げ、毎年行われています。

【発表題目】

- 1. 学歴について
- 2. マクドナルド vs KFC
- 3. 周囲の人々との繋がり
- 4. 中国と日本の料理と味の比較
- 5. 人間と動物との関係に対する意識
- 6. マスク越しのコミュニケーションの取り方

当日は、本科目を履修している外国人留学生14名が6グループに分かれ、数か月かけて研究した成果を発表しました。会場には、本学学生や教職員のほか、学外からの参加もあり、各発表後の質疑応答の時間には、発表者は緊張した面持ちで、丁寧な日本語で質問に答えていました。





2021年度 キャリア形成ゼミ

成果発表会開催日:2022年1月19日(水)

社会人として必要な力を身につけるキャリア形成実践科目「キャリ ア形成ゼミ」ですが、10年目となる2021年度は、前年度に開講した3 つのゼミに加え、新たに4つのゼミを加えた7ゼミが開講となり、80名 を超える学生が受講しそれぞれのゼミで実践的な活動に取り組みま した。

各ゼミでの活動を通じた学びを発表する場として、毎年学内で「成 果発表会」を実施していますが、今回は学外より企業の採用担当およ び他大学の就職・キャリア教育担当の方に参加いただき、「ゼミ活動 を通した学生の成長」という視点から、当日のプレゼンテーション内 容を審査いただくという新たな試みを行いました。成果発表に向けて 各ゼミの学生が活発に意見を交わし、それぞれに創意工夫を凝らし た発表が行われました。



Withコロナの新しい嵐山観光を考えるゼミ

「ほわいとドーム」

〈2021年度開講ゼミ〉

※()内は提携先企業・団体

ブライダル業界ゼミ

(本学 濱中准教授)

・ワークショップ・デザインゼミ (本学 濱中准教授)

旅行プランナーゼミ

(株式会社JTB 京都支店)

新)NDタイムズ編集部

(京都新聞社、エスフラックスKyodoデザインスタジオ)

新)環境エネルギービジネス入門ゼミ

(認定NPO法人気候ネットワーク)

新)フードサービス企画ゼミ

(株式会社フクナガ)

新)Withコロナの新しい嵐山観光を考えるゼミ

(嵯峨嵐山おもてなしビジョン推進協議会)



かったそうですが、『FUKUNAGA901』の店長へ5班分の商品発表を

した中で、白を基調とするパフェの提案が多く、カラー(白)をベースと

したパフェを考案することが新しい取り組みだとして採用されました。

完成した商品「ほわいとドーム」は2月1日から約2か月間、

成果発表会最優秀賞ワークショップ・デザインゼミ

『FUKUNAGA901』の店舗で販売されました。

京小麦の普及を目指し、 「セカンドハウス」と協働でコラボメニューを開発

2021年6月より現代人間学部生活環境学科の「食生活デザインゼ ミ」、「健康と食ゼミ」、「家族関係ゼミ」が取り組んだ共同商品開発で、 株式会社ザックエンタープライズが運営する「セカンドハウス」とのコ ラボメニューを完成させました。

この商品は、3つのゼミの学生が京都産小麦「せときらら」の普及と 振興を願って考えたメニューで、地元食材の普及と地元地域経済活 性化のためのイベント『京小麦の収穫祭 2022』で提供するために開 発されました。

学生達は今回使用した「せときらら」について、京都府農産課や井 澤製粉株式会社から特別講義を受講。完成まで試作を重ね、官能評 価を繰り返し商品開発に取り組みました。共同開発で完成したパスタ 「京地鶏と京野菜の彩りクリームソース -京小麦のタリアテッレ-」 とケーキ「京小麦のコーヒーオペラ」は1月24日からの約一か月間、近 畿圏各地のセカンドハウス店舗にて販売されました。



企業と試作を重ねて開発されたメニュー



「京地鶏と京野菜の彩りクリームソース -京小麦のタリアテッレ-」



「京小麦のコーヒーオペラ」

2021年度 学生表彰

開催日:2022年3月11日(金)

田中 詩乃

大野 綾伽

2022年3月11日(金)聖堂において、成績優秀者ならびに2021年 度学長奨励賞・資格関係の表彰式が執り行われました。

中村久美学長から賞状が授与され、今後の活躍を期待する激励 の言葉が送られました。

表彰を受けた学生は右記の通りです。



学長と表彰学生の皆さん

FUKUNAGA901×京都ノートルダム女子大学

オリジナルパフェ「ほわいとドーム」を完成

キャリア形成ゼミのひとつ「フードサービス企画ゼミ」は、『リプトン』 や『かつくら』、『FUKUNAGA901』を展開する株式会社フクナガと協 働し、オリジナルパフェ「ほわいとドーム」を完成させました。

コロナ禍により厳しい状況のフードサービスを盛り上げるメニュー を"柑橘系・白いパフェ・ふわふわ"をキーワードに考案。今まで 『FUKUNAGA901』ではフルーツをふんだんに使用したパフェが多



FUKUNAGA901外観



キャリア形成ゼミ成果発表会の様子

【成績優秀者】(令和3年度卒業者) 国際言語文化学部 英語英文学科

国際言語文化学部 国際日本文化学科 現代人間学部 福祉生活デザイン学科 現代人間学部 心理学科

炭田 紗佳 山本 紗規子 現代人間学部 こども教育学科 窪田 涼子

【学長奨励賞】

団体

キャリサポ姉さん セカンドハウスとの産学連携プロジェクトチーム 住環境ゼミ

国際言語文化学部国際日本文化学科 三輪 芽由 国際言語文化学部国際日本文化学科 野村 菜穂 国際言語文化学部国際日本文化学科 大野 綾伽 現代人間学部心理学科 染川 美颯

【各資格協会表彰者】(令和3年度卒業者)

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟表彰

宇田 千紘 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟表彰 中島 希彩

一般社団法人全国保育士養成協議会 会長表彰

上田 菜穂 公益社団法人日本フードスペシャリスト協会表彰

小國 日向 一般財団法人全国大学実務教育協会情報処理士会長賞

岩永 真由子

輝、少生

日本語café ~SAWAKAI~

32

2021年度も新型コロナウイルス感染症による学生生活への影響が続く中、「学生間交流」を望んでいるという外国人留学生の声から「日本語café ~SAWAKAI~」がスタートしました。開催当初は外国人留学生間の交流の場でしたが、徐々に国際交流に関心のある学生や教職員も加わり、12月末までに延べ125名の参加がありました。

最近は学生が各回のテーマを用意し、おしゃべりだけでなくゲームやディベートを行う回もあります。回を重ねる毎に学生たちが趣向を凝らし、〜SAWAKAI〜を盛り上げようとする姿を見ることはとても感慨深いです。今後も〜SAWAKAI〜をきっかけとして、学内での国際交流が発展していくことを願っています。

学生のみなさんへ

毎回新しい方が参加しています。参加したことがない方もお気軽に参加してみてください。

事前予約不要 入退室自由



じかん:各回12:20~13:00

日にち	トピック	場所
11月24日 (水)	日本の若者のよく使う言葉や関西弁	イマージョン
11月30日(火)	ゲーム:テーマ限定しりとり	E202
12月02日(木)	ディベート:みんな、結婚する?結婚しないと悪い?	E202
12月07日(火)	留学生が知っておくべき日本文化	E202
12月14日(火)	Pink & Black 恋?	E202
12月23日(木)	クリスマス会★☆	イマージョン

・事前予約不要
・入退室自由
・1回だけでも、複数回の参加もOK
・トピックは変わる可能性があります
・※飲食はご遠慮ください



教務課

新学生ポータルシステムUNIPAが始動しています。

本学は全国54大学が選定された、国の大学改革推進等補助金(デジタル活用教育高度化事業)「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択されました。

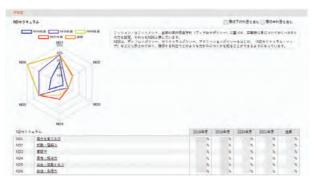
「小規模大学におけるブレンド型授業モデルの創出ー『つまずき経験』で『前向き力』を涵養する個別最適化プランー」と題して、大学生活のさまざまな場面で、学生のみなさん一人ひとりが、自分なりの方法で失敗や試行錯誤を重ね、自ら課題を発見し解決し、自信を持って学び続ける「前向き力」を養うことのできる教育の基盤整備を目標としています。

この取り組みの一環として、新学生向けポータルサイト「UNIPA (UNIVERSAL PASSPORTの略称)」が、3月から稼働しています。大きな変更点として、「UNIPA」には履修登録や授業情報、成績関連機能のほかに、新しくポートフォリオ機能を持ちます。ポートフォリオでは、学生のみなさんが4年間の学習過程や学修成果を一目で確認でき、次に取り組むべき課題を見つけられるような仕組みを予定しています。このポートフォリオを活用し、大学とともに自ら充実した学びを組み立てていけるよう期待しています。伴いまして、従来成績は成績通知書の発送をもって通知していましたが、UNIPAの学生個人のポータルサイトおよび保証人のポータルサイトで公開する方法に変更します。

2022年度前期の成績より変更となりますので、ご承知おきください。 また、「UNIPA」は本学では通称【UNIPANDA】(「UNIPA ND App」

また、「UNIPA」は本学では通称【UNIPANDA】(「UNIPA ND App」 の略称)という名称で運用しています。親しみを持ってご活用いただけ ればと願っています。





学生ポートフォリオイメージ図

ND教育センター

学習アドバイジングのご案内

ND教育センターでは、文章作成の基礎、英語やコリア語、情報などの学習アドバイジングを行っています。

●文章作成アドバイジング

学習相談

文章作成の基礎に関する相談を、ND教育センター事務室で受け付けています。

オンライン講座「文章作成の基礎づくり」

manabaで「文章作成の基礎づくり」を行っています。センターが提供する文章作成に関する課題に学生が取り組むことにより、苦手意識を克服し、段階的に文章作成の基礎を身につけていきます。

●英語学習アドバイジング

英語多読(Extensive Reading)

無理をせずスラスラと読めるレベルからはじめて徐々にレベルをアップしていくことで、日本語に訳さず英語を英語のまま理解する "英語脳"が養われ、4技能(Reading,Writing, Listening, Speaking) が向上する英語多読を推奨しています。多読本は図書館とND教育センター事務室で貸出しています。

英語スキルアップポイント

英語力向上に関するプログラムやイベントなどに参加してポイントを貯めると、取得ポイントに応じてTOEIC受験費半額補助あるいは参考書購入補助費(図書カード)に交換できます。ポイントカードはND教育センター事務室でお渡しします。(英語母語話者を除く)

●i-Spaceイベント

コリア語チャットルームや英語関連のイベントなど、決定次第、お知ら せいたします。

●情報アドバイジング

情報学習関連の相談を、ユージニア館2階の情報演習室1・2で実施しています。実施日時については、掲示等で確認してください。

詳細やイベントスケジュールなどは、オリジナルサイトやTwitterで 確認してください。

オリジナルサイトセンターの取り組み

センターの取り組み などを掲載していま す。

Twitter

センターからのお知らせやイベント、大学の"いま"をお届けしています。

センターや大学の様子、イベントレポー

Instagram

トなど、大学の"実際"をお届けしています。



施設課

~60周年記念事業~ 大学外構に足元照明を設置

60周年記念事業の一つとして、本学正門(キャンパス南側)を挟んで東西に足元を照らすLED照明を設置しました。通学する学生には下校時、寮生には帰寮時の安全・安心を目的としています。照明は約3.3m間隔で、正門西側(91m)に28台、正門東側(124m)に38台を設置し、石垣の美観を損なわないようにセンターあるいは目地に合わせて設置をしました。照明は、明暗センサーとタイマーで動作し、日没とともに点灯、寮の門限時間に消灯します。工事は8月26日に開始し、凡そ2か月で工事を終えました。

南西角には、同窓会のマリアンコーナーの工事も12月6日に落成式 を終え、キャンパスに新たな彩りを添えています。



国際教育課

海外留学プログラム再開

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により、本学では、2020年度より渡航を伴う海外留学プログラムの実施を一時中断していました。

この間、日本をはじめ多くの国・地域において、日常生活における感染防止対策やワクチン接種が着実に進んだことから、行動制限の緩和や社会・経済活動の再開に向けたさまざまな施策が講じられており、こ

うした国内外における社会情勢の変化を踏まえ、2022年2月から留 学プログラムを再開することとしました。

コロナ禍という以前とは大きく異なる環境における留学になりますが、協定校や提携機関との連携を強化し、留学中の危機管理サポートを充実させ、学生の皆さんが安心して留学できるよう支援していきます。

国際教育課

国際交流に興味がある皆さん!学内でも国際交流できます!

本学には8つの国と地域からの外国人留学生が各学科に在籍しています。 外国人留学生との交流に興味のある方はぜひお知らせください!

留学生って何人くらいいるの?

外国人留学生数:59名

内訳】 応用英語 : I名 英語英文 : 5名 国際日本文化:29名 高: 277



どうやって交流するの?

本学には8つの国と地域から来た外国人留学生が各学科に在籍しています。外国人留学生との交流に興味のある方はぜひお知らせください。

日本語café(詳細は15ページ参照)などのイベントで、 楽しみながら交流できる機会を数多く設けています。

国際教育課

国際交流掲示板(IBB)を利用して 国際交流しましょう!

国際教育課内に 国際交流掲示板 (IBB) を設置しています。 学内交流イベントの告知や日本語・他言語の会話パートナーの募集など、学生が 思い思いに交流メッセージを残せる掲示板ですので、お気軽に閲覧および掲示しに きてください。

IBBを利用して交流の輪を広げていきましょう!



行事予定

41-101-15-15	A SA SA SA	
2022年	1日(金)	[全]①オリエンテーション
4月	2日 (土)	[全]①入学式
E	4日 (月)	【全】②③④日本学生支援機構在学採用説明会
	5日 (火)	【全】①日本学生支援機構予約採用説明会
	5日 (火)	仮登録科目①1次、②3④2次募集期間(6日(水)13:00まで)
	7日 (木)	①履修登録、②③④履修検討期間(14日(木)13:00まで)
	7日 (木)	【全】②③④日本学生支援機構在学採用説明会
	8日 (金)	前期授業開始日
	15日 (金)	履修検討(修正)期間(16日(土)17:00まで)
(2) E/A	15日(金)	海外研修説明会
	15日(金)	図書館:春期長期貸出返却期限日
	16日(土)	【全】①定期健康診断
10	1011 (土)	エル 人名 対 医球 必 申
5月	1日 (日)	オープンキャンパス
	6日(金)	(授業なし)
	9日 (月)	履修中止届出期間(13日(金)まで)
	12日 (木)	グローバル英語コース留学説明会
	16日 (月)	【国日】《《中華· (17:00)
	18日 (水)	【現心】③社会調査士(キャンディデイト)説明会(心理学演習時間内)
	19日(木)	派遣留学プログラム説明会(セメスター、韓国、姉妹)
	19日 (木)	【全】③キャリアガイダンス(4,5講時…どちらかに出席)
	21日 (土)	TOEIC IPテスト(希望者対象9:30~)
	28日 (土)	補講日
Ţ	31日 (火)	【現心】④卒業研究・卒業論文テーマ提出(17:00)
3		
6月	1日(水)	【全】①②③④学内奨学金説明会
<u>ş</u>	4日 (土)	補講日
	12日 (日)	オープンキャンパス、大学院説明会
	18日 (土)	TOEFL ITPテスト(希望者対象9:15~)
	25日 (土)	補講日
	27日 (月)	大学院学内特別推薦出願締切
# #		
7月	2日 (土)	TOEIC IPテスト(希望者対象9:30~)
	2日 (土)	補講日
	11日 (月)	図書館:夏期長期貸出開始(大学院生)
	15日 (金)	【英文】②ゼミ分属説明会(16:40~)
	16日(土)	補講日
	17日(日)	オープンキャンパス
	23日(土)	
	25日 (月)	図書館:夏期長期貸出開始(学部生)
3	29日(金)	前期授業最終日
	30日(土)	定期試験期間※定期試験のほか補講を行うことがある。(8月6日(土)まで)
8月	4日 (木)	【こども】①コース分属希望調査書提出締切(17:00)
.,,	6日(土)	オープンキャンパス
	7日(日)	オープンキャンパス
	8日 (月)	夏期休暇(9月25日(日)まで)
	8日 (月)	窓口事務取扱休止(10日(水)まで)
	12日 (金)	夏期一斉休業(窓口事務取扱休止)(17日(水)まで)
	21日 (日)	オープンキャンパス
OF	1 - (+)	前扣方式時
9月	1日(木)	前期追試験
2.	9日(金)	大学院入試1期
	11日(日)	オープンキャンパス
2	17日 (土) TOEIC IPテスト(希望者対象9:30~)	
ī.	22日(木) 前期卒業式・学位授与式	
	26日 (月)	後期授業開始日
	1	
	26日 (月)	履修検討(修正・仮登録科目募集)期間(30日(金)まで)
	26日 (月) 29日 (木)	履修検討(修正・仮登録科目募集)期間(30日(金)まで) 派遣留学プログラム説明会(セメスター、姉妹)

※①・②・③・④については、学年の数字を表します。(例:①→1年次生、②→2年次生) ※掲載されている情報は2022年2月時点のものです。

2022年3月12日(土)、第58回卒業式・第19回学位授与式が執り行われました。新型コロナウイルス感染防止のため、来賓およびご家族の列席を制限しての式となりましたが、卒業生は本学伝統のキャップとガウンを身にまとい、凛とした表情で式に臨んでいました。

中村学長から学科および研究科の代表者に証書が授与され、「自己のライフキャリアに向き合い、誠実に生きていきながら、結果としてささやかでも社会へ何らかの貢献をすることで、豊かな人生を獲得してください」と式辞が述べられました。その後、聖ヴィアトール修道会ウィリアム・セルジュ神父様の司式によるみことばの祭儀が行われ、参加者全員でこの佳き日を迎えられたことを感謝しました。学部生276名、大学院生12名が卒業し、本学の卒業生ならびに修了生の総数は16.510名となりました。



教員 人事 2022年4月1日(金)付			
【学部】		【各センター】	
国際言語文化学部		教育センター	
役職	氏名	役職	氏名
学部長	岩崎 れい	センター長	神月 紀輔
英語英文学科主任	小山 哲春	図書館情報センター	
		役職	氏名
国際日本文化学科主任	河野 有時	センター長	加藤 佐千子
現代人間学部		キャリアセンター	
役職	氏名	役職	氏名
学部長	牛田 好美	センター長	鷲見 朗子
生活環境学科主任	酒井 久美子	カトリック教育センター	
心理学科主任	伊藤 一美	センター長	大名 久野 将健
		LV K	八到一个位
こども教育学科主任	田中裕喜	心理臨床センター	
		後職	氏名
【大学院】		センター長	三好 智子
人間文化研究科 役職	氏名	国際教育センター	
		役職	氏名
研究科長	須川 いずみ	センター長	Steven Herder
心理学研究科		センケーズ	Steven Herder
役職	氏名		
研究科長	向山 泰代		

編集後記

2021年から2022年にかけての冬は厳しく、雪が降る日が20日近くもあったそうです。北山でも陽に照らされた雪がきらきらと舞う、幻想的な風景をよく見かけました。3月に入ってから少しずつ寒さもやわらぎ、春らしさを感じる日が増えてきました。

世の中では新型コロナウイルス感染症の流行、ロシアによるウクライナ侵攻など、日々前例をみない出来事が起こっています。世界的にも、この春の日のような温かく平和な時が来ることを願ってやみません。

NDキャンパス通信は、このVol.16から管理運営部企画広報課が発刊主体となりました。前広報委員の先生方・各学科の広報担当の先生方・各課のご担当者の皆さまをはじめ、多くの方々のご協力により無事完成となりました。お忙しい中ご協力いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。

管理運営部 企画広報課 長野留三子

京都ノートルダム女子大学 大学報

NDキャンパス通信 Vol.16

2022年4月5日

編集・発行/ 京都ノートルダム女子大学 企画広報課 〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地 URL: https://www.notredame.ac.jp

E-mail:kikaku-koho@ml.notredame.ac.jp刷/株式会社ティ・プラス

本誌は京都ノートルダム女子大学保護者会の資金援助を一部受けています。 ※掲載している情報は取材時のものです。